

せたがやインクルーシブ教育ガイドライン を策定します

世田谷区では、すべての子どもが同じ場所で仲間として共に学び、自分たちのことを自分たちで決め、年齢、性別、性的指向及びジェンダーアイデンティティ、国籍、障害などに関わらず、他者と自分との違いにより目に見えない壁をつくることなく、誰もが自分らしく学校生活を送ることのできるインクルーシブ教育をめざしています。

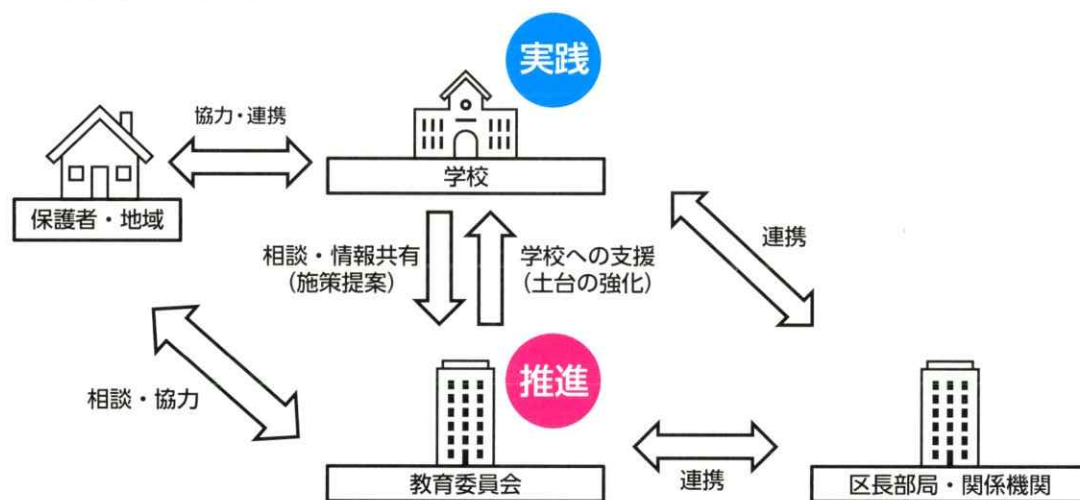
この度、学校と教職員一人ひとりがインクルーシブ教育を一步ずつ進めていくため、教育委員会の考え方や視点、取組みを示す「せたがやインクルーシブ教育ガイドライン」を策定します。

このガイドラインは、教育委員会と学校が一体となり、共に学び、共に育つ教育を実践するため、インクルーシブ教育のための基礎知識と、なぜインクルーシブ教育が必要なのかについて記載するとともに、世田谷区がめざすインクルーシブ教育の基本理念、教育委員会の基本方針や取組み、そして学校現場における行動コンセプトを明確にし、記載します。また、学校の取組みについて見直し、実践につなげるための事例を掲載しています。

インクルーシブ教育を実現するために

インクルーシブ教育を一步ずつ進めるにあたり、学校全体が安心してインクルーシブ教育を実践できるための土台（基盤）が必要です。教育委員会はこの土台（基盤）を強固にするため、学校をはじめ、区長部局や関係機関と連携し、本ガイドラインに沿った各種制度の運用と、子どもたちと保護者を支え、学校を支援する制度の構築や運用、合理的配慮への理解促進と提供及び保護者との建設的な対話、子どもたちの実態の把握や実態に基づいた教育活動及び支援が実施されるよう、学校への支援体制の拡充や教職員への専門研修の充実など、5つの重点取組みを実施していきます。

また、学校では5つの行動コンセプトに基づいた学校経営、学級経営等を実施し、教員一人ひとりが実践につなげていきます。



世田谷ガリレオコンテスト

中学生の自由研究コンテストである世田谷ガリレオコンテストを開催しました。今年度は総計2636点の研究作品の応募がありました。令和7年1月18日（土）の最終審査では9名の入賞者が、日常生活から見つけた疑問を深く探究した作品や、中学生ならではの柔軟な発想で実験をした作品など、多様な研究発表で会場を盛り上げました。

受賞作品

ガリレオ賞（最優秀賞）



「地震の揺れの違いが及ぼす建物への影響について」

駒留中学校 井口 リリいさん

揺れの大きさの違いによって建物に与える影響がどう異なるのか。

どうしたら建物への揺れの影響を抑えることができるのかを調べました。

「ペットボトルは開けたら一気に飲みきろう！
—寒天培地による細菌の培養実験を通して—」

船橋希望中学校 伊藤 咲良さん

ペットボトルは一度開けると細菌が繁殖して体によくないという。

細菌の増え方の違いを、寒天培地を用いた細菌の培養実験で調べました。



「都市緑化と気温・湿度の関係」

喜多見中学校 若原 啓正さん

視界に占める緑の割合（緑視率）が異なる3地点で、気温、湿度、路上表面温度を測定し、都市緑化と気温・湿度の関係について明らかにしました。

優秀賞

アイデア賞

「暑くてもとけにくい
おいしい焼きチョコの条件とは？」

桜丘中学校 岡部 理央さん

焼く温度と時間を組み合わせることで、最もとけにくく、味もおいしくなる焼き方と理由を探究しました。

「ヘチマの最適な発芽条件の調査
Part 2」

上祖師谷中学校 神谷 薫子さん

ヘチマのより最適な発芽条件を調べるため、種子の切り方、水につける時間、植えるときの温度を変えて実験しました。

ドリーム賞

「風力発電をする際の
効率の良い羽根の条件を探る」

東深沢中学校 高橋 みあいさん

風力発電の羽根の形状や枚数等の変化が、発電量にどのように影響するのか？効率的な羽根の条件を考えました。

「蚊の生態について！」

世田谷中学校 廣瀬 叶和さん

よく「蚊」に刺されるので、蚊はどのような生活をし、性質があるのか、色や明るさ、温度、臭いとの関係について調べました。

サイエンス賞

「水を振り子のように振った時に
こぼれる条件とは？」

緑丘中学校 出石 悟朗さん

購入したコーヒーを振り子のように振って運んだら、こぼれてしまった。

なぜこぼれたのか、そしてどうすればこぼれないかを探りました。

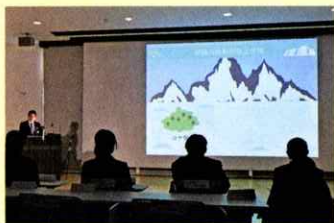
「エノコログサ研究」

梅丘中学校 佐藤 文翔さん

幼いころから好きだった「ねこじゃらし」。中学生になって「エノコログサ」ということを知り、近所にどんな種類がどれくらい生えているのか調べました。

★当日の発表の様子については、ホームページにて配信いたします（令和7年4月予定）。ぜひご覧ください★

講演「南極に未知をたずねる」



田留健介先生（東京農業大学准教授）に、南極の環境や生物について紹介いただきました。

ポスターセッション

オープンスペースに研究ポスターを用意し、来場者全員が質問者として参加できるポスターセッション方式の質問会を行いました。様々な視点からの質問により、自分の研究をさらに深めることができました。

★研究ポスターは教育総合センター1階「らぼらボ」にて展示しています。



ヘチマの最適な発芽条件の調査
Part 2



蚊の生態について！



水を振り子のように振った時に
こぼれる条件とは